

## SUPRPRO2000

### ユーザーマニュアル (スタンドアローン モード)

Superpro2000 をご購入頂きありがとうございます。Superpro2000 は PC に接続して使用する PC ホストモードと PC から切り離して使用できるスタンドアローンモードの 2 種類の使用方法があります。

PC ホストモードについては XELTEK マニュアル Windows 版をご参照ください。

#### 概要

8 MB のフラッシュ ROM を 20 秒で書き込む高速タイプ

本体に MCU を内蔵しキーパッド、16×2 の表示用 LCD が付属

アルゴリズムプログラム領域に 4MB のフラッシュ ROM、ユーザーデータ用に 4MB のフラッシュ ROM を装備 (最大 128MB オプション)

個別に動作する PIN ドライバー付 48Pin ZIF ソケット標準装備

E/EPROM・FLASH・MCU・PLD に対応及び TTL/CMOS ロジック、SRAM テスト機能

各種デバイスのアルゴリズムプログラムは PC よりプリンターポートを経由してダウンロード (4MB までの範囲で必要な品種のアルゴリズムファイルを保持できます)

1.8V の低電圧デバイスをサポート

書き込み前に IC とソケット間の接触チェック機能

EPROM へ自動 ID (シリアルナンバー) 書き込み機能

全自動書き込み機能、正常な IC 挿入チェック後の書き込み開始

バッチ処理コマンドの編集可能

#### 最初に

パラレルケーブルを PC に接続せずに電源を入れるとスタンドアローンモードになります。

ケーブルを接続して本体の電源を入れると PC ホストモードになります。

スタンドアローンモードで使用するには最初に PC に接続してご使用になるデバイスのアルゴリズムプログラムを本体にダウンロードする必要があります。

#### アルゴリズムプログラム・ダウンロードの手順

1. パラレルケーブルを PC と本体に接続し電源を入れます。
2. PC の XELTEK プログラムを立ち上げます。
3. メニュー画面の LIBRALY より READ を選択します。SP2000 よりすでにダウンロードされている内容を読み込みます。
4. 不要なアルゴリズムを DELETE で消去します。

5. 必要なアルゴリズムを ADD し OK を押します。
6. TRANSFER をおして SP2000 にアルゴリズムをダウンロードします。
7. 本体の電源を切ってケーブルをコネクタから抜きます。
8. ケーブルを接続していない状態で SP2000 の電源を入れます。

## MENUE

|         |                                     |
|---------|-------------------------------------|
| ENTER   | SELECT と SUB-MENU の決定               |
| EXIT    | 上位メニューへ移動                           |
| 矢印 (上下) | SELECT の移動<br>エディットバッファ使用時カーソル位置の移動 |
| 矢印 (左右) | エディットバッファ使用時アドレス又はデータのスクロール         |

## RUN

実際の使用時に重要なコマンドです。以下の動作はこのメニューから開始します。

|             |  |
|-------------|--|
| AUTO        | SETTING-EDIT AUTO で設定が必要です。                            |
| PROGRAM     | エディットバッファのデータを IC に書き込みます。                             |
| READ        | 本体の FlashRom 内 エディットバッファに IC のデータを読み込みます。              |
| BLANK CHECK | IC の内容が空であるかチェックします                                    |
| VERIFY      | IC に書き込んだデータとエディットバッファの内容を比較します。一致すれば SUCCESS が表示されます。 |
| ERASE       | PLD FLASH 等の IC のデータを消去します。デバイスの機能によります。               |
| SECURE      | IC の Bit データをロックします。IC によってこの機能が無い事があります。              |

## SELECT DEVICE

先に行いました、アルゴリズムプログラムがホスト PC よりダウンロードの手順が完了していることが必要です。

最初に矢印 (上下) キーを使用してデバイスのメーカー名を決めます。次に品番を選択します。内蔵している Flash メモリーの容量を越えるデバイスを選択した場合はメッセージが表示され動作いたしません。その場合はオプションのメモリーを追加します。

## BUFFER

バッファのエディット

内容の確認又は編集をします。メモリー製品又は MCU 製品以外動作しません。

ENTER を押すと最初のアドレス及びデータが表示されます。矢印（左右）を使用して編集する箇所又は表示する箇所にカーソルを移動してください。  
矢印（上下）を使用してアドレス又はデータを変更します。

#### CHECK SUM

エディットバッファの CHECK SUM の値を計算します。

#### EDIT AUTO

AUTO（RUN のメニュー内）で使用するシーケンスを決めます。

#### CHIP ADDRESS

ENTER キーと矢印（上下）を使用してデバイスのスタートアドレスを決めます。ENTER キーと矢印（上下）を使用してデバイスのエンドアドレスを決めます。  
デフォルトのアドレスは個々のデバイスを選択した時点で決まります。

#### BUFFER ADDRESS

ENTER キーと矢印（上下）を使用してエディットバッファのスタートアドレスを決めます。ENTER キーを押して矢印（上下）を使用してバッファのエンドアドレスを決めます。  
デフォルトでは選択したデバイスにより設定されています。

#### AUTO CHECK SUM

ENTER キーと矢印（上下）を使用して ENABLE と DISABLE を選択します。  
ENABLE を選択した場合 READ を実行した後に CHECKSUM は計算されます。

#### PIN TEST (INSERSION CHECK)

ENTER キーと矢印（上下）を使って ENABLE と DISABLE を切り替えます。ENABLE を選択した場合、書き込みの動作前に正しく IC がソケットに挿入されているかチェックします。正しく挿入されていない場合 IGNORE（無視）又は EXIT（終了）を選択します。

#### BEEPER

ベルを鳴らす、鳴らさないの選択をします。

#### AUTO COUNTER

ENTER と矢印（上下）を使用して ENABLE または DISABLE を選択します。  
ENABLE を選択した場合プログラマーはエディットバッファ内のアドレスと初期の値を聞いてきます。書き込みプログラムに影響を与えないアドレスに初期のデータ値を入力し

書き込みを開始します。個別の ROM に ID を付加できます。

#### AUTO RUN

ENTER キーと矢印（上下）を使用して ENABLE 又は DISABLE を選択します。

ENABLE を選択した場合、プログラマーはソケットと IC の接触を確認し IC の挿入が確認できれば自動的に書き込みが開始します。多量に IC を書き込む場合に使用します。

#### ENCRYPTION

ENTER キーと矢印（上下）を使用し ENABLE 又は DISABLE を選択します。

一部の MCU のみが対象です。

XELTEK Windows 版マニュアル 日本語版もご参照ください。